

令和5年度(令和4年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

教育部スポーツ課

教育部長 森田 知幸

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
32-1	総合型地域スポーツクラブハウス改修事業	C	<p>利用者数について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けたR2年度と比較し、徐々に回復傾向にはあるが、感染症拡大前の利用者数（H30年度：65,946人）まで回復せず、目標を達成することはできなかった。</p> <p>今後、コロナの終息により、利用者数増が見込まれるため、引き続きソシオ成岩スポーツクラブと連携を図り、よりよいサービスの提供を行う。</p>	終了	<p>施設の老朽化による修繕を計画的に行い、繁忙期を避けた工事期間の調整や利用者に対する休館情報の周知を的確に行うことで、利用率に影響が少ない効率的な運営に努めていく。</p> <p>また、新規や固定の利用者を増やすために、指定管理事業者と定期的に打合せを行い、更なる利用者の増加に努める。</p>
32-2	大学地域連携スポーツ推進事業	C	<p>直近の課題に対する研修会やヒアリングによる各クラブの状況整理、指導者派遣により、安定的な運営に寄与したことについては評価できるが、各クラブの悩みである後継者確保や財源確保問題については、具体的な解決方法が見出せず効果があったとは言えない状況であった。</p> <p>スポーツクラブの財源確保問題については、引き続き日本福祉大学と連携し、対策を考えていく必要がある。</p>	改善推進	<p>直近の課題では、中学生の部活動改革が各スポーツクラブの大きな課題となるため、指導者の確保や指導者養成に関する課題についても、対応してもらえるよう調整を図る。</p>
32-3	半田運動公園改修事業	B	<p>設計委託を行い消防法・建築基準法に合致する必要最低限の電力を確保できる発電機更新の設計を行うことができた。また、これまで地下にありメンテナンス性が悪かった設置場所を地上へ移し、メンテナンス性の向上と設置費用の削減を行うことができた。</p> <p>今後は、受電設備など老朽化が目立つため計画的に更新する必要がある。</p>	改善推進	<p>二子や改修計画を踏まえ、劣化が進む運動公園施設を長寿命化計画に基づき整備を進めていく必要がある。</p>
32-4	半田福祉ふれあいプール管理運営事業	C	<p>施設利用者数の目標値を達成はできなかったが、令和4年度は、指定管理者が変わり新しい体制での運営が始まり、オリンピックの講演、eスポーツ体験などの開催により新たな顧客の開拓を行った。</p> <p>今後、安定した利用者の確保を行うためにも、これまでの水泳教室、アクアピクス、リラクソヨガ等の自主事業も積極的に開催できるよう、指定管理者との調整を進めていく。</p> <p>また、利用者が施設を安心安全に利用できるよう、必要な修繕や設備等の整備を行っていく。</p>	改善推進	<p>施設の老朽化による修繕を計画的に行い、繁忙期を避けた工事期間の調整や利用者に対する休館情報の周知を的確に行うことで、利用率に影響が少ない効率的な運営に努めていく。</p> <p>また、新規や固定の利用者を増やすために、指定管理事業者と定期的に打合せを行い、各種教室、クリスマス企画、幼児プール体験等のイベントを充実させ、利用者の満足度向上に努める。</p> <p>eスポーツ体験などプール以外の利用者の増進も図る。</p>
課等長	1次評価（令和4年度の総括評価）				
C	<p>総合型地域スポーツクラブハウスについては、施設竣工からまもなく20年を迎えるにあたり、外観的にも機能的にも経年劣化していた鉄骨・外壁の塗装等を施工することで、施設利用者に対し快適な環境整備を実施できた。実施初年度となる大学地域連携スポーツ推進事業では、各スポーツクラブへの指導者派遣を実施したことで、安定運営につながった。ただ、ヒアリングを実施することにより、様々な課題を把握することができたが、単年度では解決方法を見出すことができず、課題解決までには至らなかった。半田運動公園改修事業では、老朽化した自家発電装置の改修を目的とした実施設計を行い、次年度に改修が完了する予定である。半田福祉ふれあいプール管理運営事業では、高騰する光熱費の影響により施設の管理運営に支障が生じたため、指定管理者に対し施設指定管理事業補助金を交付した。</p>				
部等長	2次評価（令和4年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）				
C	<p>総合型地域スポーツクラブハウス及び半田運動公園を始めとする施設改修等については、遅滞なく計画的に実施していくとともに、今後も他の施設において老朽化に伴う改修等が見込まれるため、利用者が安全且つ快適に利用できるよう計画的に改修を実施していくこと。半田福祉ふれあいプール以外にも指定管理者制度を導入している施設があり、光熱費を始めとする物価高騰に伴う、施設運営への支障が生じることがないよう、指定管理者と連携・調整を図ること。日本福祉大学との連携については、スポーツ課が委託の目的や期待する効果に対しビジョンを持ち、スポーツクラブの課題解決に取り組むこと。</p>				